

通信パケット衝突を抑制するランダムアクセス方式

従来技術より、高効率な輻輳制御で、IoT等の無線通信の高速化に有効

概要

莫大なIT端末が市場には存在し、それらから膨大な情報が送信され、通信の基地局等で受信するが、その膨大な情報を受信するには、端末間の通信パケットの輻輳を抑制する仕組みが重要である。一般的には全端末で共有する無線リソースに対してランダムアクセスを行い、輻輳を検知して再送するALOHA方式等が用いられるが、通信利用効率が30%程度と低い問題点がある。本発明は、個別端末の制御を行うことなく、ランダムアクセス時の輻輳を抑圧し、通信利用効率を80%程度まで向上させ、通信の高速化を図る方法である。

利用シーン例

- 無線LAN通信等の近距離無線端末の輻輳制御・高速化
- 携帯電話通信等の移動通信の輻輳制御・高速化
- 衛星通信を利用した膨大な情報の輻輳制御・高速化

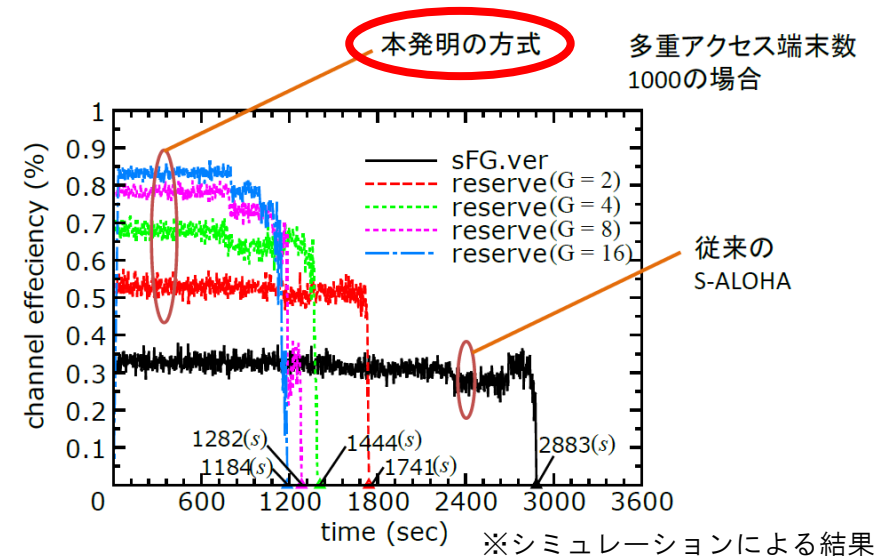
特許データシート

特許番号(整理番号)：特許第6103539号(T13-164)

発明者：末松 憲治、亀田 卓、他

効果

本発明の方式では、通信利用効率は最大85%
 ※従来方式(Slotted ALOHA)では36.8%



本方式の詳細は、[お気軽にお問合せ下さい。](#)
[発明者との打ち合わせも可能](#)です。

連絡先

株式会社 東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049

FAX 022-222-3419

問い合わせは[こちら](#)からお願いします。